

harmony

— 岩手県立中部病院 地域連携便り VO1.37 —

— ごあいさつ —

総看護師長 齊藤 るり子



皆様におかれましては、平素より当院の運営にご理解、ご協力を頂き誠に感謝申し上げます。今年度4月に赴任しました、総看護師長の齊藤るり子です。中部圏域の皆様と連携をはかり、ともに地域のみなさまの命と健康を守っていきたいと考えております。精一杯努めて参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

今年も梅雨が過ぎ夏本番の暑さを感じる季節となりました。ここ3年間医療機関等では、新型コロナウイルス感染症への対応に尽力してきたところです。5月8日より感染症法上5類へと移行しましたが、未だに感染は収まることなく続いている状況です。当院では、面会を一部制限へと切り替え、入院患者さんに面会できるよう変更しておりましたが、8月14日より再び面会禁止としております。面会中に笑顔になる患者さんをみると、改めて病気からの回復には医療やケアに加えて、家族の方々の大きな力、愛情が欠かすことができないものであると感じております。院内でのマスク装着等、ご不便をおかけいたしますが、引き続きご理解ご協力をお願い致します。

今年度は、急性期病院の役割を果たし満足していただける看護を提供することはもちろんですが、地域における活動を積極的に実施することとしています。今年2月より毎週オンラインで開催している中部圏域3病院の連絡会議では、病院の状況について情報交換をおこない相互理解をすることで、各病院が医療提供体制を整えることができている。さらに入退院支援における連携を強化していきたいと考えております。また、認定看護師の活動も拡大していく予定です。これまでも圏域内外の病院、施設等にて研修会やケアの実践の機会を頂いてきましたが、ウィズコロナの状況となりさらに地域のリソースとして多くの認定看護師が活躍してくれると期待しているところです。11月には「病院祭」を4年ぶりに開催する予定です。地域のみなさま方、医療を将来の仕事として考えている中学生、高校生の方にはぜひお越し頂きたいと思っています。

今後とも、皆さまと連携しながら、安心安全な医療の提供に努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

令和5年8月17日

～～ 岩手県立中部病院 理念と基本方針 ～～

- 理 念 心のかよう患者中心の医療を実践し、地域社会に貢献する。
- 基本方針
1. 安全で質の高い医療を提供する。
 2. 医療・保健・福祉施設、行政との協働を推進する。
 3. 人間性豊かな医療人を育成する。
 4. 明るく働き甲斐のある職場をつくる。
 5. 健全な病院経営に努める。



第2・4火曜
13:30
～
16:00

頭痛外来 (脳神経内科)

頭痛には様々な原因があります



頭痛は、脳腫瘍、髄膜炎、脳炎、クモ膜下出血や脳卒中などの病気の症状として出現する頭痛（二次性頭痛）と基礎疾患のない、いわゆる頭痛もちの患者さんの慢性頭痛（一次性頭痛）に大別されます。一次性頭痛には、片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛などがあります（国際頭痛分類第3版）。

一次性頭痛の1つである片頭痛は有病率が8.4%と、頻度の高い疾患です。20～40歳代の若い生産年齢人口に多く、男女比は1:3と女性に多いとされています（Cephalalgia, 1997）。片頭痛の診断基準の項目の中には、片側性および拍動性という特徴が含まれていますが、片頭痛による頭痛は、両側性や非拍動性のこともあります。その他の特徴としては、光や音に過敏になったり、吐き気または嘔吐を伴うことがあります。片頭痛は、日常生活支障が高く、学業や労働の生産性の低下を招き、生活の質全体を下げてしまうことが問題となっています。そのため、正確に診断し、早期に適切な治療を行うことが重要です。

近年、CGRP 関連抗体薬をはじめとした新規治療薬の登場により、片頭痛患者さんの治療選択肢が広がり、患者さんの重症度や生活支障度に合わせた治療を行うことができるようになってきています。一次性頭痛でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひ頭痛外来へご相談いただけましたら幸いです。

脳神経内科医長 鎌田 麻美

新型コロナウイルス感染症関連

【8/14～】『面会禁止』のお知らせ

制限付きで可能としていた入院患者さんへの面会について、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、令和5年8月14日より「禁止」としております。

※ 病院でお願いした方以外は原則禁止となります。

ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力の程をお願いいたします。

流行状況による当院の対応については、当院ホームページで随時お知らせします。

面会禁止

新型コロナウイルス感染症
流行に伴い
面会を禁止します。

入院患者さんの感染防止のための
対応となります。
ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

* 病院でお願いした方以外は
原則禁止となります。

2023年8月14日
病院長
感染管理室長

『2023年度 ふれあい看護体験』を開催しました

看護科では、5月10日、12日、17日、19日の4日間において、中高生による「ふれあい看護体験」を開催しました。

今年度は、73名の参加がありました。体験内容は、看護の仕事について紹介、認定看護師による活動紹介、血圧・酸素濃度測定、車椅子乗車体験、施設内見学、看護師と学生さんのフリートーク時間を設けました。学生さんは看護師の話に熱心に耳を傾け、質問も活発にしていました。看護師の仕事に興味や関心の高さが見受けられました。



学生さんのアンケートには、「看護の仕事は『生きる』をサポートする仕事であることがわかった」「病院内を見学したり、看護師とお話をしています看護師になりたいと思いました」「チームで患者さんに向き合っているというのがすごく伝わってきた」「普段見ることのできない手術室を見ることができてとてもワクワクしました」「他の学校の方ともお話することができて学ぶことも沢山あり有意義な時間でした」などの感想が多数寄せられました。

今回の体験を通して看護師の仕事や施設内を知る機会となり、看護師から直接話を聞くことでさらに理解が深まった様子でした。

今後も学生さんが看護や医療の仕事に興味をもち、これからの進路選択に活かしていただけるような魅力のある職場をつくりたいと思います。



新任医師紹介 ※令和5年8月に着任した医師をご紹介します。



氏名	鈴木 幸之介 (すずき こうのすけ)
診療科・職名	小児科・小児科医長
学会資格等	日本小児科学会、日本新生児成育医学会、日本周産期・新生児医学会
ひとこと	よろしくお願いいたします。

【放射線検査】持続血糖測定装置 装着患者さんに関する対応

当院では、X線検査（CT含む）による持続血糖測定装置（リブレセンサー等）の不具合を避けるため、当該検査時は持続血糖測定装置を原則取り外す運用としております。当該検査を受ける患者さんが持続血糖測定装置を装着されている場合は、取り付けを行った医療機関へ「着脱の可否」について、確認のお電話をさせていただきますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。

《注意》・放射線治療およびMRI検査時は取り外す必要があります。

・インスリンポンプを装着したままX線検査やMRI検査はできません。

心臓リハビリテーション外来



当院では、令和5年度7月から心不全や急性心筋梗塞などの心疾患の既往がある患者さんを対象に心臓リハビリテーション外来を開設しました。心臓リハビリテーション指導士の資格をもつ理学療法士が医師の指示のもと、患者さんお一人お一人の病状にあった運動の強度や量を評価し運動処方を行い、エアロバイクなどの有酸素運動を中心とした運動療法や、自宅での運動指導を行うことで再発予防を目標に取り組んでおります。心疾患のリハビリについてご興味ありましたらご相談ください。

- 外来日【登録制】 毎週水曜日 9時～10時
- 所要時間 1時間程度
- 治療費 2000円～3000円程度(3割負担の場合)
《問い合わせ先》 リハビリテーション技術科



地域医療福祉連携室からのお願い ◇当院は予約制です◇

基本的に外来診療は予約制とさせていただきます。

患者さんが予約なしに紹介状をお持ちいただいた場合、長時間お待たせしたり、外来の状況によっては予約を取り直して後日来院いただくこともあります。

お手数をおかけしますが、緊急の方以外はFAXで事前に予約のお申込をいただくよう、ご協力をお願いいたします。

なお、当日の患者紹介の際は、紹介先の診療科医師に電話にてご一報いただけますと、よりスムーズに患者さんを受け入れることができますので、ご協力をお願いいたします。



発行：岩手県立中部病院 地域医療福祉連携室

〒024-8507

岩手県北上市村崎野 17 地割 10 番地

TEL 0197-71-1511 (代表) 0197-71-1518 (連携室直通)

FAX 0197-71-1881 (連携室専用)

URL <http://www.chubu-hp.com/>



発行：2023年8月

